

授業概要

社会では時として他者と違ったプラス・アルファのスキルを持つことがキャリアを大きく左右する。こうした中、フランス語は、アメリカなどの英語圏の国々とは異なる文化、社会、考え方を理解する上での欠かせない糸口になる。また、仏語圏には様々な科学や芸術を育んだ歴史と環境がある。講義ではフランス語の豊かな文化を学ぶとともに、「読む・書く・聴く」の能力を養い、仏語を話せるようにする。

プリントや（映画を含めた）映像を用い、ビデオ教材の内容に沿ってグループでの簡単な会話練習を行う。基礎的な文法の説明に基づき、練習問題をこなす。同時に、実践的なコミュニケーション能力を養うべく単語集を使い、語彙の補完につとめる。そして、教科書のトピックに合わせ、フランス語圏の文化について随時紹介し、講義する。トピックは、フランスの歴史や芸術から始まり、パティスリーなどのお菓子作りといった身近な話題に及ぶ。

授業計画

第1回	フランス語と仏文化に親しもう — 発音の基礎、アルファベット／上手な自己紹介の仕方
第2回	パリの人々 — 主語人称代名詞、動詞 être 直説法現在形の活用／ユーロ通貨
第3回	フランスに到着 — 国籍や職業を表わす名詞の性・数、数詞／タクシーの乗り方
第4回	ホテルでチェックイン — 動詞 avoir の直説法現在形、名詞と不定冠詞・定冠詞
第5回	部屋を描写する — 形容詞の性・数の一致、指示代名詞 ce
第6回	カフェで注文する — 第一群規則動詞の活用／お店での注文・買い物の仕方
第7回	パリの公園 — 所有形容詞、疑問文／フランスの公園・森林の風景
第8回	電話をかける — 形容詞の位置／会話の仕方
第9回	写真について語る — 形容詞と名詞の女性形／フランス各地の景色
第10回	パリのカフェ — 否定文／カフェの歴史とそれにまつわる話
第11回	道を尋ねる — 指示形容詞／パリの歴史と建造物
第12回	蚤の市 — 前置詞と定冠詞の縮約形／上手な交渉の仕方
第13回	パリの地下鉄 — 人称代名詞の強勢形、中性代名詞 y／メトロ路線図
第14回	市場で買い物をする — 疑問代名詞、部分冠詞／朝市とフランス人の食卓
第15回	レッスンのまとめ／フランス語検定5級の解説
第16回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

近年、ビジネスの現場などではユニークな資格と知識を持つことが有利になり、こうした資格の中にフランス語検定が含まれる。授業では「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験5級」の資格取得レベルを目指す。長いスパンで考えれば、フランス語は、将来 各分野で役立つと同時に、人生を必ず豊かなものにしてくれる。楽しく学ぶことを目標にしたい。

履修上の注意

この講義は後期に開講する「フランス語Ⅱ」とセットであり、一年間継続して学習しないと仏語の基礎が身につかない。そのため、この科目を受講するには後期授業の履修を目指して学ぶことが求められる。

また、外国語は声に出して発音してこそ身につくため、授業では積極的に発言していくことが期待される。なお、原則として遅刻は認めない。

予習・復習

授業で指示される予習・復習をきちんと行い、課題をこなすことが求められる。実践してみよう。

評価方法

学期末試験（50%）、課題（30%）、授業参加の度合（20%）などを総合的に評価する。ただし、基本的には、受講生が学習を通して各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く。

テキスト

- ・教科書名： “Elle est gourmande! 1 Nouvelle Edition” (『新・彼女は食いしん坊！1』)
 - ・著者名： 藤田 裕二
 - ・出版社名： 朝日出版社
 - ・出版年 (ISBN)：(最新版) 2018年 (ISBN978-4-255-35231-2 C1085)
- また、随時プリントを配布する。

授業概要

社会では時として他者と違ったプラス・アルファのスキルを持つことがキャリアを大きく左右する。こうした中、フランス語は、アメリカなどの英語圏の国々とは異なる文化、社会、考え方を理解する上での欠かせない糸口になる。また、仏語圏には様々な科学や芸術を育んだ歴史と環境がある。講義ではフランス語の豊かな文化を学ぶとともに、「読む・書く・聴く」の能力を養い、仏語を話せるようにする。

プリントや（映画を含めた）映像を用い、ビデオ教材の内容に沿ってグループでの簡単な会話練習を行う。基礎的な文法の説明に基づき、練習問題をこなす。同時に、実践的なコミュニケーション能力を養うべく単語集を使い、語彙の補完につとめる。そして、教科書のトピックに合わせ、フランス語圏の文化について随時紹介し、講義する。トピックは、フランスの歴史や芸術から始まり、パティスリーなどのお菓子作りといった身近な話題に及ぶ。

授業計画

第1回	フランス語と仏文化に親しもう —— 発音の基礎、アルファベット/上手な自己紹介の仕方
第2回	パリの人々 —— 主語人称代名詞、動詞 être 直説法現在形の活用/ユーロ通貨
第3回	フランスに到着 —— 国籍や職業を表わす名詞の性・数、数詞/タクシーの乗り方
第4回	ホテルでチェックイン —— 動詞 avoir の直説法現在形、名詞と不定冠詞・定冠詞
第5回	部屋を描写する —— 形容詞の性・数の一致、指示代名詞 ce
第6回	カフェで注文する —— 第一群規則動詞の活用/お店での注文・買い物の仕方
第7回	パリの公園 —— 所有形容詞、疑問文/フランスの公園・森林の風景
第8回	電話をかける —— 形容詞の位置/会話の仕方
第9回	写真について語る —— 形容詞と名詞の女性形/フランス各地の景色
第10回	パリのカフェ —— 否定文/カフェの歴史とそれにまつわる話
第11回	道を尋ねる —— 指示形容詞/パリの歴史と建造物
第12回	蚤の市 —— 前置詞と定冠詞の縮約形/上手な交渉の仕方
第13回	パリの地下鉄 —— 人称代名詞の強勢形、中性代名詞 y/メトロ路線図
第14回	市場で買い物をする —— 疑問代名詞、部分冠詞/朝市とフランス人の食卓
第15回	レッスンのまとめ/フランス語検定5級の解説
第16回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

近年、ビジネスの現場などではユニークな資格と知識を持つことが有利になり、こうした資格の中にフランス語検定が含まれる。授業では「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験5級」の資格取得レベルを目指す。長いスパンで考えれば、フランス語は、将来 各分野で役立つと同時に、人生を必ず豊かなものにしてくれる。楽しく学ぶことを目標にしたい。

履修上の注意

この講義は後期に開講する「フランス語Ⅱ」とセットであり、一年間継続して学習しないと仏語の基礎が身につかない。そのため、この科目を受講するには後期授業の履修を目指して学ぶことが求められる。

また、外国語は声に出して発音してこそ身につくため、授業では積極的に発言していくことが期待される。なお、原則として遅刻は認めない。

予習・復習

授業で指示される予習・復習をきちんと行い、課題をこなすことが求められる。実践してみよう。

評価方法

学期末試験（50%）、課題（30%）、授業参加の割合（20%）などを総合的に評価する。ただし、基本的には、受講生が学習を通して各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く。

テキスト

- ・教科書名： “Elle est gourmande! 1 Nouvelle Edition” (『新・彼女は食いしん坊！1』)
 - ・著者名： 藤田 裕二
 - ・出版社名： 朝日出版社
 - ・出版年 (ISBN)：(最新版) 2018年 (ISBN978-4-255-35231-2 C1085)
- また、随時プリントを配布する。